

## 『奥尻町立小・中学校適正配置計画』の策定

奥尻町教育委員会では、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化などの現状や課題を踏まえ、子供たちの将来を見据えた良好な教育環境と学習環境を提供するため、昨年6月から、小・中学校の適正配置計画の策定に向け取り組みを進めてきました。

平成23年7月には「奥尻町立小・中学校適正配置基本方針」を定め、集団における教育効果や指導体制の充実を図るためには、学級・学年・学校としての一定の規模が必要であることから奥尻町の望ましい適正な規模は、1学年1学級以上（単式学級）とし、学校の統廃合を進めることとしました。この基本方針をもとに、3回にわたる検討協議会と地域説明会を開催し、保護者や地域の方々のご意見やご要望をいただきながら合意形成に努めて参りました。

町内の小・中学校は、地域や保護者の皆様と共に歩み、歴史と伝統を築き上げており、地域の方々の学校に対する強い思いを感じる場面や統合に対する不安などの声もありましたが、説明会を重ねる中で、「早く進めてほしい」という声が次第に大きくなり、適正配置に対する理解が広がっていきました。

このような経過の中で、本年2月に開催した第3回地域説明会で、小・中学校の統廃合について理解が得られたことから、3月21日開催した教育委員会において、適正配置計画の最終決定を行ったところです。

「奥尻町立小・中学校適正配置計画」の概要を以下のとおりお知らせします。

### ※ 計画期間

平成24年度から平成29年度までの6カ年

### ※ 適正配置の基本的考え方

- ① 子どもたちの学習環境並びに教育環境の向上を前提に行う。
- ② 全町的な視野に立った配置を基本とし、2次統合が予測される配置は行わない。
- ③ 保護者や地域の方々に十分な説明を行い、円滑な合意形成に努める。
- ④ 奥尻町発展計画における位置づけを踏まえて計画を策定する。



### ※ 配置計画と実施年度

#### ① 小学校について

小学校は北部1校と南部1校の2校とし、北部の奥尻小学校を平成26年4月に宮津小学校へ統合することとし、受け入れ校となる宮津小学校については不足教室の増築を行います。（統合後の学校名、教育目標、教育課程等については、今後検討します。）

また、南部の青苗小学校の体育館については、平成26年度までに改築を進めます。

#### ② 中学校について

中学校は町内1校とし、奥尻中学校と青苗中学校を統合した新しい中学校の新設を、平成29年4月を目途に進めます。

立地場所については、統合後の新しい中学校と道立奥尻高等学校との連携交流や通学バスなどを考慮し、可能な限り奥尻高校へ近い場所への新設を進めます。

#### ③ 通学区域の変更に伴うスクールバスの運行について

適正配置に伴い、通学区域に変更が生じることから、スクールバスの適切な運行など、安全・安心な通学環境の確保に努めます。